

実施中の事業化モデル研究の概要 –素材とモチーフ（主題）検討–

【広域地質・文化遺産モデル】：四国モデル

日本地質学史の宝庫であり、地質学の黎明期に世界に発信した我が国の地質学界が誇れる歴史と伝統を持つ地域です。空海、坂本龍馬、四国お遍路などの歴史・文化遺産を含めて、その情報発信と広域的インフラ整備が考えられます。

- (1) 明治日本の地質学発祥の地である高知地方
ナウマンによる高知地域の調査
- (2) 戦前の日本地質学
佐川造山輪廻の提唱の模式地
- (3) 戦後の地質学
プレート収束域における構造運動



【東アジア圏文化交流モデル】：北海道白滝黒曜石遺跡モデル

今後生まれていくであろう多くのジオパークの中にあって、アジア規模での地域的広がりや専門領域性において、我が国屈指の幅広い視野のジオパークが想定できます。

- (1) 白滝黒曜石は、当時において強力な“人間活動素材”であったはずですが、おそらく白滝黒曜石遺跡を中心とする一大文化圏『白滝黒曜石文化・経済・政治圏』を構築していたでしょう。白滝黒曜石遺跡が語る“ジオ（GEO）”の世界をそのような意味とスケールで捉えてみたいと考えています。
- (2) そうすると、白滝黒曜石遺跡は今と未来にどうつながるのでしょうか。
 - ① 資源開発、社会基盤整備に止まらない、環境ビジネスや教育・観光ビジネスを含めた 21 世紀の地質（地球科学）産業の展開
 - ② 世界に向けた『白滝黒曜石文明圏』の発信
 - ③ “人間活動素材”としての白滝黒曜石の復活と地域活性化（黒曜石によるまちづくり）

【広域地質構造モデル】：関東山地秩父モデル

地質学の黎明期に世界に発信した我が国の地質学界が誇れる歴史と伝統を持つ地域です。

- (1) 秩父“古生層”発祥の地（模式地）、和銅開宝の銅鉱床と三波川変成岩類、恐竜化石
- (2) 丹沢山塊と伊豆島弧の衝突（プレート境界の諸地質現象）
- (3) 甲武縦断道と 140 号線（雁坂トンネル）
- (4) 原生林などゆたかな自然遺産
- (5) 秩父事件、秩父お遍路などの歴史・文化遺産